

神隠しの町の母

「おかあさんはでぶです

すこしやさしいです

ときどき原町につれていつてくれます」

一時帰宅で母が持ち帰った荷物は

私が初めて書いた詩のノート

アルバム

手紙

渡されたゴミ袋一枚に

母の優先順位はくるつてゐる

貴重品も大切にしていた着物も

何も入れずに入らずに

思い出さがすようなものばかり

もう原町には行けないんだねえ

何で認知症になったのかねえ

なんで原発爆発したのかねえ

母のひとりごと